



キャベツのサラダおいし〜い!

榎のおじさん 残さず食べたいよ!

榎さんの畑でとれたキャベツが届けられた川尻小学校では「ツナサラダ」として調理されました。みんなあつという間にペロリ。とってもおいしかったよ!

地元産を学校給食へ

地元でとれた新鮮な野菜などが学校給食の食材に使われています。地域の農業や食文化を理解する「農と食の教育」の一環です。学校給食における市内産の農産物の使用率は約三%。今後この割合をもっともつと増やしていきます。



子どもたちに、ぜひ畑に来てもらいたいね

学校給食に食材を提供している
榎政良さん(四ツ小屋字上野)

もうすぐ冬を迎えるこの季節でも、榎さんの畑には青々とした野菜がいっぱい。

「おいしい野菜をつくるには、やっぱり土づくりが重要。うちの畑は米ぬかをまいていて、肥料の効果がジワつと効いてくる土だから、葉っぱの緑色も新鮮に長持ちするんだよ。次代を担う子どもたちだから、安全で安心な地元産の野菜を自信を持って届けたいとね」と、言葉に力が入ります。

自然相手の農業だから畑では学ぶことが多いと言います。「子どもたちには、実際に野菜をつくっている畑に来てもらいたいね。畑に来ないとわからないことがあるから。育ちかた一つとっても野菜の種類で違うし、季節ごとにどんな野菜がとれるかもわかる。何事も生きた素材に肌で触れることが一番大切なんだよね」と話してくれました。

おめでとう優秀農家

確かな技術と優れた経営能力で地域農業のリーダーシップを発揮している優秀農家のみなさん。今年は次のかたがたが受賞されました。



「地道に頑張ってきたことが認められてうれしいです。自分の身体の続く限りは米作り、畜産を頑張りたいです」...松本重春さん

最優秀賞 自立專業経営体部門(個人)

松本重春さん(上北手小山田字小山田)

水稲と畜産の複合経営です。水稲部門では、積極的な農地集積と、土壌改良剤の投入、自家製堆肥の利用など、循環型農業に取り組んでいます。畜産部門では、転作田を利用した放牧や、市内最大の繁殖雌牛数と高繁殖率により、素牛生産頭数を伸ばしています。

優秀賞 農業個人部門(女性農業者の部)

田中昭子さん(太平中関字下館)



水稲と花き、野菜の複合経営です。特に花きの生産では、市内切り花生産者のトップクラスの技術を確立しています。また、集団栽培を行い常に競争意識を持った生産を心がけ、病害虫防除では共同作業を行い、生産の省力化に努めています。



あきた県産食材を堪能する夕べ 食材の魅力再発見



11月12日、ゆとりある「スローフード」と地元食材を見直そうと、市内のホテルで「あきた県産食材を堪能する夕べ」が開かれました。

参加した350人は、「金浦漁産産鮭の燻製姿作り」「比内地鶏の粗塩パイ包み焼き」「由利産黒毛和牛ロース肉のポワレ」などの料理を、地酒、地ビール、地ワインなどを飲みながら堪能。一流シェフにより和洋中に味付けされた県産の食材は、普段の料理とはまた違う魅力が引き出され、その奥深い味にみなさん満足した様子でした。



市民観光りんご園で収穫体験

消費者と生産者の交流も大事です

市では、消費者と生産者が、お互いに顔の見える関係になるよう、収穫体験などを通じ、消費者と農家の交流の機会をつくっています。参加した消費者グループのかたに感想をうかがいました。

「環境」「健康」「経済」

こまちの会会長

小山澄子さん



実際に生産者のお話を聞き、

後継者不足、農薬を減らす工夫、経営方針の見直しなど、農家の大変さがわかりました。

消費者側の勉強も必要ですね。消費者は、生産者の現場をもっとよく見て積極的に農業に関わり、消費者自身への宣伝役となることで、農業への理解が深まると思います。

これからの農業を考えるうえで「環境」「健康」そして「経済」のバランスをとっていくことが課題だと思いました。この体験で学んだことを多くの人に伝えられたらいいですね。

生産者のこだわりが感じられました

暮らしを考える女性の副会長

田中久子さん



今回の体験で農業に対する関

心をより強くしました。生産者は無農薬に近づける努力や、その日とれたものはその日のうちに消費者に届くようにする、「デイ・ゼロ」につとめていることがわかりました。

子どもたちも学校で農業体験をしているようですが、実際に農家を訪ねてみるというんなことがわかり、給食に対する意識が変わると思います。給食を残す子どもがいなくなるかもしれないですね。

農家の人たちはそれぞれにこだわりを持って作業に取り組んでいます。それがわかっただけでも勉強になりました。



石塚香椰さんの作品

「最優秀賞」石塚香椰さん(秋大附小2年)

児童图画部門

「優秀賞」敬称略

- 佐藤智美(上新城小1年)
- 辻媛花秋(大附小2年)
- 佐藤萌(築山小4年)
- 大信田和幸(東小5年)
- 豊嶋葉月(東小5年)
- 近野唯梨(天住小5年)
- 渡辺大都(天住小5年)
- 保坂楓(外旭川小5年)
- 矢野梓(外旭川小5年)



「優秀賞」農業個人部門(男性農業者の部)

佐藤茂さん(金足片田字待入)



水稲単一経営です。土壌改良剤の投入や地力増進作物のすき込みなどを行いながら、適切な肥培管理と病害虫の適期防除などにより高品質米の安定生産に取り組んでいます。また、地区農業の受け皿として、年々、小作面積や作業受託を増やすなど、地域農業のリーダーとして活動しています。

「優秀賞」地域活性化部門

四ツ小屋ふれあいランド

直売活動グループです。低価格で安心・安全をモットーに会員が協力し、地場産新鮮野菜の供給につとめ、地域に根ざした活動をしています。直売所での販売のほか、移動販売や市内産農畜産物直売にも出品しています。毎週木曜日、秋田空港へ向かう道路沿いのJA新あきた青果物南流通センターの敷地で直売しています。